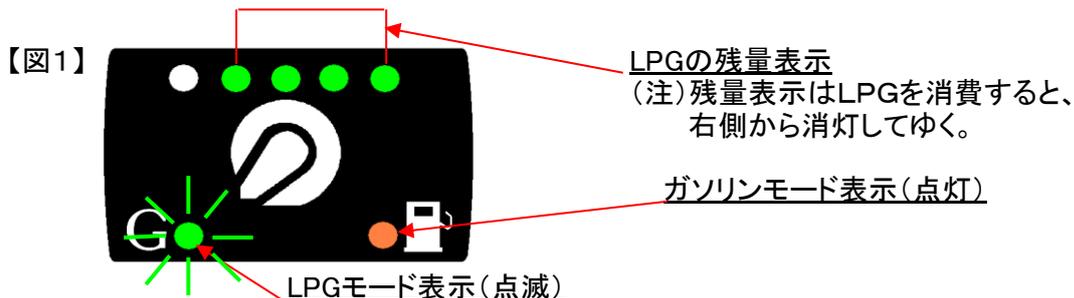


Easy FASTスイッチ、エンジンスタート時の燃料切り替わり表示

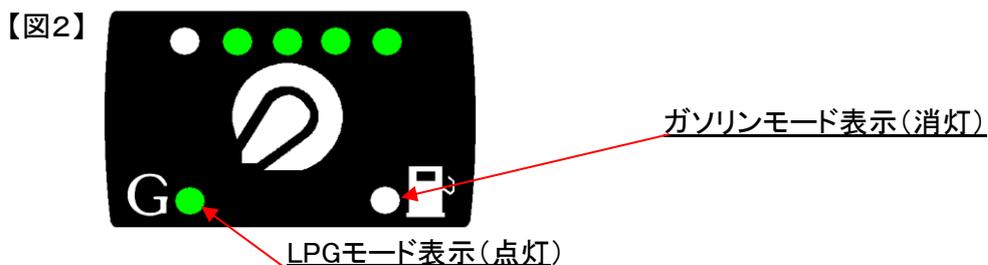
- ① エンジンスタート時、燃料切替スイッチは【図1】の表示となります(待機モード)。



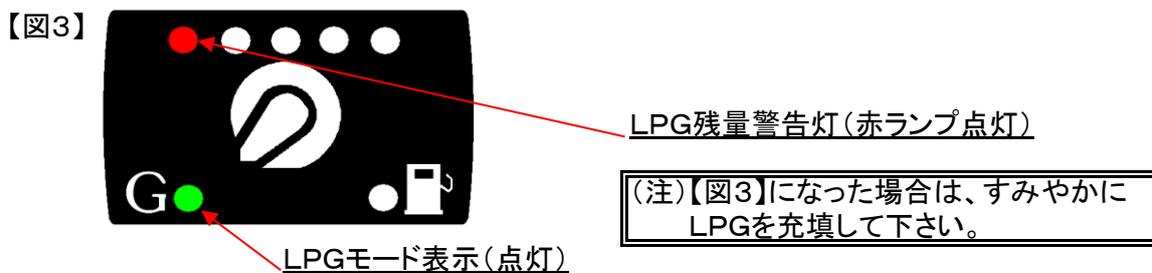
- ② エンジンスタート後、下記の条件を満たした時に自動的にLPGモードへと切り替ります。

燃料切替スイッチは【図2】の表示となります。

切り替り条件: エンジンスタート後、冷却水温度が上昇しエンジン回転1600rpm以上

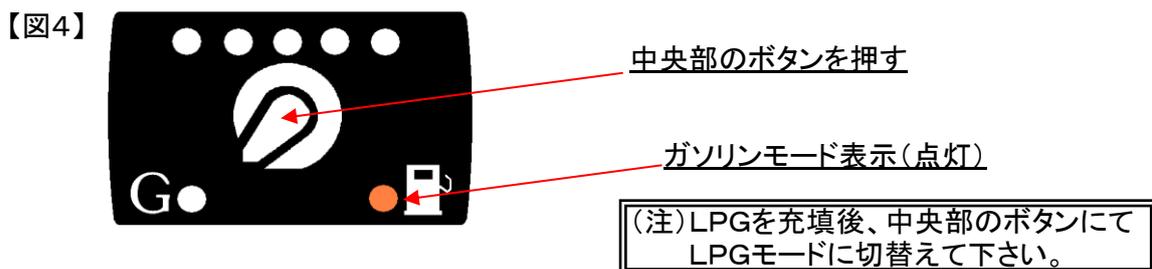


- ③ LPG燃料が少なくなった場合、左上の赤ランプが点灯し【図3】の表示となります。



LPG残量が無くなった場合の燃料切り替え表示

- ④ 燃料切替スイッチの中央部、丸いボタンを押してガソリンモードへと切り替えます。
燃料切替スイッチは【図4】の表示となります。



LPガス自動車のメンテナンスについて

ガソリン自動車をベースとしてLPガス仕様に改造した車両を快適にご使用いただくために次の事項にご留意下さい。

バルブクリアランスの点検と調整

40,000km毎に実施をお願いします。

LPガスは熱量が高いため排気側のバルブに負荷がかかります。早めの点検が効果的です。

一部、クリアランス調整が自動の車種があります。

これらの車種はアイドリング時の不安定、圧縮比のバランスが悪くなる時点でバルブの点検、調整が必要です。

コモンレール(LPガス噴射装置)の点検と清掃

ガスを正確に噴射するため定期的に内部の汚れをクリーニングすることが必要です。

100,000km毎に実施をお願いします。

低圧LPガスフィルターの交換

LPガスに含まれる油分を分離するためのLPガスフィルターの交換は15,000 km毎に実施をお願いします。

主たる点検項目は車載の点検記録簿に記載してあります。

15,000km毎の点検をして頂くことで快適な車両運用が可能となります。

点検ご案内ブザー音について

EASY FASTIについてはLPガス運転が360時間を経過するごとにキーOFF時にブザーが2回鳴動します。(ピーピー音) 車両の定期点検、車検にあわせて点検をお願いするものです。ブザー鳴動時に点検をしないと危険につながるというものではありません。

追記:

LPガス自動車には燃料容器(LPガスボンベ)が装着されています。

ガスの流出を防止するために容器バルブに過流防止弁が内臓されています。

ガスに切り替わらない時は赤いバルブ(弁)を一度閉めて再度、1回転開いてください。

過流防止機能(閉)が解除されます。

エンジンを始動し、ガスに切り替れば赤いバルブ(弁)を全開させて下さい。

ガスを完全に使い切って再度ガスを充填した時に良く起こる現象です。

安全装置としての機能をご理解下さい。